

サプライチェーンでのCN推進に向けた取組 日本特殊陶業株式会社の事例

～Scope3排出量削減の取組の一環として、中小サプライヤー企業を中心に積極的な支援を実施～



中小サプライヤー企業への手厚い支援を行う理由



日本特殊陶業において、自社のScope3削減には、サプライヤーの協力が必要。日本特殊陶業は中小サプライヤーが多く、手厚い支援を行うことでサプライヤーのCN取組を促進。CN取組を通じて、サプライヤー自身の企業価値や競争力を高めていくことに繋がる。

1

中小サプライヤー企業における年次毎のエネルギー使用状況を把握



年次毎のエネルギー使用状況を把握することで、特に支援すべきサプライヤーを抽出し、フォローアップするためのエビデンスを収集。

2

中小サプライヤー企業への支援

直接支援

- ▶ カーボンニュートラル交流会/ 日本特殊陶業側から参加対象サプライヤーを選定
 - ・ 行政スキームや公的支援策を活用したサプライヤーの事例紹介
 - ・ 日本特殊陶業の省エネ改善事例紹介
 - ・ 日本特殊陶業の工場見学
 - ・ ワークショップ
- ▶ 省エネ診断/ 日本特殊陶業側から参加対象サプライヤーを選定
 - ・ 日本特殊陶業の生産技術部門が現地視察も行き、サプライヤーのエネルギー使用状況や設備の運転状況などを確認し、サプライヤーに対して、省エネ対策を提案

行政スキーム等の活用

- ▶ 行政スキームや公的支援策の情報提供
 - ・ 調達部門におけるサプライヤー向けカーボンニュートラル説明会で情報提供
 - ▶ 中小機構 ハンズオン支援事業の活用
- ※次ページで詳細紹介

3

CN取組を評価

CNに係る取組を積極的に行うサプライヤーを評価すべく、サプライヤー定期評価にCN評価を反映し、徐々に配点割合を大きくすることを明示。

中小機構ハンズオン支援事業の活用

日本特殊陶業株式会社の事例

中小サプライヤーへの支援を実施するにあたり、サプライヤーの状況を把握しながら、行政や公的支援を活用し排出量削減への取組みを実施

サプライヤーの CN対応状況の把握

- CN取組に関するアンケート
- 日本特殊陶業向けのCO2排出量調査



サプライヤーの選定

- 日本特殊陶業向けの排出量が多い
- CN対応を行う意識が高い



サプライヤーとの伴走

- 重要サプライヤーとしての位置づけ
- 行政との事前打合せ



サプライヤー× 日本特殊陶業× 中小機構の3者打合せ

- 中小機構アドバイザーからのCN対応の解説
- 日本特殊陶業が目指す削減目標や範囲の説明
- フラットな場での率直な意見交換

サプライヤーに対して、①CN取組に関するアンケート、②日本特殊陶業向けのCO2排出量調査を実施。

また、日本特殊陶業は自社のScope3にあたるサプライヤーにおける排出量削減を支援するため、行政スキームや公的支援策の活用を模索し、中部経済産業局にコンタクト。

中部経済産業局のサポートを得つつ、中小機構中部本部のCN支援スキームと繋がり、支援対象とするサプライヤー企業の選定にあたり、アンケート・排出量結果等の分析を行った。

日本特殊陶業向け排出量が多く、他社にとって取組みのモデル事例となるよう、まずは異業種にて複数社を選定。

選定先サプライヤーには、サプライヤーとして重要視していること、行政や公的支援機関との橋渡しは日本特殊陶業が行うことを説明。

中小機構アドバイザーから経営視点からの噛み砕いたCN対応の解説を交えつつ、日本特殊陶業からサプライヤーに削減を推進したい範囲（Scope1,2）やその把握方法の紹介、サプライヤーの削減目標数値等を率直に話し合うことでサプライチェーンでの削減への理解やサプライヤー自身の削減への取組に繋がった。